

## 新たに、大沢たかおの出演が決定！

TOKYO FM & JFN present  
アース・バイ・ハート  
EARTH × HEART LIVE 2015 supported by JA全農  
松任谷由実、秦 基博、JUJU 初共演ライブ

演出：松任谷正隆 テクニカルディレクション：Rhizomatiks

2015年4月18日(土) 17:00 開場／18:00 開演 東京国際フォーラムホールA【追加公演】

2015年4月19日(日) 17:00 開場／18:00 開演 東京国際フォーラムホールA【本公演】

TOKYO FMをはじめとするJFN(全国FM放送協議会)加盟38社では、ステーションメッセージである「アースコンシャス～地球を愛し、感じる心」、「ヒューマンコンシャス～生命を愛し、つながる心」の理念を象徴するコンサート「TOKYO FM&JFN present EARTH×HEART(アース・バイ・ハート)LIVE 2015 supported by JA全農」を、2015年4月18日(土)、4月19日(日)、東京国際フォーラムホールAで開催致します。

1990年の第1回開催から26年目を迎えるこのコンサート。TOKYO FM 開局45周年でもある今年は、TOKYO FMにゆかりのある豪華アーティストたちによる“初”のコラボレーションが実現します！

出演アーティストは、このライブが初共演となる3組

**松任谷由実、秦 基博、JUJU**

演出は、音楽プロデューサー**松任谷正隆**

映像ディレクションは、**Rhizomatiks(ライゾマティクス)**

**そして新たに、大沢たかおの出演が決定！**

**TOKYO FM「JET STREAM」のパーソナリティをつとめる大沢たかおが  
ストーリーテラーとして、ライブをナビゲートします。**

まさに日本のミュージックシーンに残る「夢の共演」にご期待下さい。



松任谷由実



秦 基博



JUJU



大沢たかお



チケットは、全席指定 8,800 円(税込)。本公演(4/19)の一般発売は 4 月 4 日(土)、追加公演(4/18)の一般発売は 4/12(日)となります。

★ただいま、追加公演(4/18)のTOKYO FM限定・先行予約(抽選)を受付中★

《抽選予約期間》3月30日(月) 10:00～4月2日(木) 13:00

《受付 URL》<http://l-tike.com/tfm-eh/> (PC/携帯共通)





「EARTH×HEART LIVE」は、TOKYO FMをはじめとするJFN38局が、毎年「アースデー」である4月22日に、世界に向けて放送しているプレミアムライブです。

1990年の第1回開催から26年目を迎える今年は、TOKYO FM開局45周年にもあたり、TOKYO FMにゆかりのある豪華アーティストたちの初コラボレーションが実現しました。

出演アーティストは、松任谷由実、秦基博、JUJU。演出に松任谷正隆、テクニカルディレクションに真鍋大度が率いるRhizomatiks、**そして新たに、ストーリーテラーとして大沢たかおの出演が決定しました！**

**松任谷由実** 「Yuming Chord」(金 11:00～) 出演中。TOKYO FMで最長の32年にわたってパーソナリティをつとめる。

**秦基博** 「JA全農 COUNTDOWN JAPAN」(土 13:00～)の昨年の年間チャートで、「ひまわりの約束」がNo.1を獲得。

**JUJU** 昨年12月、「KIRIN BEER “Good Luck” LIVE」(土 16:00～)でデビュー10周年プレミアムライブを披露。

**大沢たかお** TOKYO FM/JFNを代表する「JET STREAM」(月～金 24:00～)の5代目機長をつとめる。

**松任谷正隆** 「三菱UFJニコス presents DEAR PARTNER」(日 21:00～) 出演中。

**真鍋大度** 昨年10月、大学生を対象とした公開授業「FM FESTIVAL2014 未来授業～明日の日本人たちへ」に出演。

### ●大沢たかおがストーリーテラーとして登場！

「EARTH×HEART LIVE2015」のテーマは、「100年後の未来に種を蒔こう」。次世代のためにわたしたちは何を考え行動すべきなのか、地球と未来への想いを圧倒的な音楽と映像の力で表現します。

ステージ上には、今から100年後のラジオステーションが出現します。大沢たかおは、その未来のラジオステーションのパーソナリティとして、世界中から寄せられたメッセージを紹介。ライブ全体のストーリーテラーとして、詩的なスクリプトを紡ぎながら進行していきます。

### ●松任谷由実、秦基博、JUJUの初共演が実現！

松任谷由実、秦基博、JUJUは、今回のライブが初共演となります。秦基博は6枚目のシングル「フォーエバーソング」(2008.10/8 発売)のカップリングで、荒井由実の名曲「晩夏(ひとりの季節)」をカバー。JUJUはカバーアルバム第2弾『Request II』(2014.12/3 発売)で、松任谷由実の「ANNIVERSARY」をカバー。2人が心からリスペクトするユーミンと夢の初共演を果たします。

### ●ライブの様子はアースデーにOA！海外ラジオ局でも放送！

ライブの様子は、アースデーである4月22日(水)19:00～21:00、TOKYO FMをはじめとするJFN全国38局で放送するほか、アジア各国、アメリカのカレッジFMなど、海外FM局でも放送される予定です。

なお、コンサート会場での募金活動によって集められた寄付金を、公益財団法人「瓦礫を活かす森の長城プロジェクト」に寄付し、東北沿岸部の「森の防潮堤作り」に役立てて参ります。

#### 【瓦礫を活かす森の長城プロジェクトについて】

東日本大震災で発生した瓦礫の上に盛り土(マウンド)を作り、その上にタブノキやカシ類などの森を育て、青森から福島まで東北太平洋沿岸部に、通常時は防風林や防砂林として、非常時には巨大津波からのちを守る為の、森の防潮林を築いていくプロジェクト。500円で1本のポッド苗を植えることができる。<http://greatforestwall.com/>

#### 【イベント概要】

タイトル: 「TOKYO FM&JFN present EARTH×HEART LIVE 2015 supported by JA全農」

日時: 2015年4月18日(土) 開場 17:00 / 開演 18:00 ★追加公演

2015年4月19日(日) 開場 17:00 / 開演 18:00 ★本公演

会場: 東京国際フォーラム ホールA

出演: 松任谷由実、秦基博、JUJU

ストーリーテラー: 大沢たかお

演出: 松任谷正隆

テクニカルディレクション: Rhizomatiks

料金: 全席指定 8,800円(税込)

発売日: 本公演(4/19)の一般発売⇒4月4日 追加公演(4/18)の一般発売⇒4月12日(日)

主催: TOKYO FM/JFN 企画制作: TOKYO FM/JFN

特別協賛: JA全農

制作協力: ディスクガレージ

協力: 雲母社/オフィスオーガスタ/Sony Music Associated Records

後援: UNIVERSAL MUSIC LLC/Sony Music Labels

お問合せ: ディスクガレージ 050-5533-0888(平日 12:00～19:00) ホームページ: <http://www.tfm.co.jp/eh>



2015年4月1日

## 【PROFILE】

## 出演:松任谷由実



1972年大学在学中に荒井由実としてシングル「返事はいらない」でデビュー。1976年に松任谷正隆と結婚し、松任谷由実に。革新的なステージを構築してきたアーティストであると同時に、本名だけでなく呉田軽穂名義で他のアーティストにも多数の楽曲を提供してきた。代表作に「卒業写真」「あの日にかえりたい」「守ってあげたい」「リフレインが叫んでる」「Hello, my friend」「春よ、来い」他多数。2012年にデビュー40年を迎えてもなお、帝国劇場で開催した音楽と演劇が融合する舞台の出演を果たす等新たな挑戦を続けている。同年11月20日にデビュー40周年記念ベストアルバム「日本の恋と、ユーミンと。」をリリース。翌2013年11月20日には前作「ROAD SHOW」から、2年ぶりとなる37枚目のオリジナルアルバム「POP CLASSICO」をリリース。同年同日からは、約8ヶ月に渡る全国36都市66公演のロングツアーを完走。

## 出演:秦 基博



2006年11月シングル「シンクロ」でデビュー。透明かつ繊細でありながら力強さを併せ持つ歌声と、日常を切り取った抒情豊かなソングライティングで一躍注目を集める。「鱗(うろこ)」「アイ」などのロングヒットで幅広い層のファンを獲得。2010年10月に発表した3rdアルバム『Documentary』はCDショップ大賞の準大賞作品にも選出。翌年秋にはデビュー5周年を記念し、日本武道館&大阪城ホールでのライブを開催。その一月後には自身3度目となる武道館公演を全編弾き語りで行い話題を呼ぶ。2013年1月、通算4枚目のオリジナル・アルバム『Signed POP』をリリース。同アルバムを携えた自己最長となる全国ホールツアー「HATA MOTOHIRO "Signed POP" TOUR 2013」(全31公演)も大盛況の内に幕を閉じ、10月には初のセルフセレクションアルバム「ひとみみぼれ」をリリース。TVCMソングとしても話題となった楽曲「Girl」が「2013年間 USEN HITJ-POP ランキング」1位を獲得。2014年は映画『STAND BY ME ドラえもん』の主題歌「ひまわりの約束」が大ヒットを記録。2015年4月29日には昨年好評を博したアコースティックライブツアー『GREEN MIND 2014』のBlu-ray&DVDがリリースされる。

年間 USEN HITJ-POP ランキング”1位を獲得。2014年は映画『STAND BY ME ドラえもん』の主題歌「ひまわりの約束」が大ヒットを記録。2015年4月29日には昨年好評を博したアコースティックライブツアー『GREEN MIND 2014』のBlu-ray&DVDがリリースされる。

## 出演:JUJU



12歳の頃からジャズシンガーを志し、18歳で単身N.Y.渡米。2004年「光の中へ」でメジャーデビュー。2006年「奇跡を望むなら...」がロングヒットを記録し、その後「明日がくるなら」が大ヒットの他、カバー、ジャズ、クラシックと様々なジャンルで幾多のヒット曲を世に送り出す。2014年4月からはデビュー10周年イヤーに突入し、全国33都市42公演10万人動員の全国ツアーを開催。9月には10周年の新章スタートを飾る、ニューシングル「ラストシーン」をリリース。10月には自身初となる、さいたまスーパーアリーナにて、大人気カバーライブ「ジュジュ苑」を10周年スペシャルとして開催し、25,000人の満員のライブを成功させる。そして12月には、大ヒットカバーアルバム第2弾「Request II」をリリース。10周年ファイナルとなる2015年のスタートを飾る両A面シングル「Hold me, Hold you / 始まりはいつも突然に」は、話題のWタイアップと共に、

JUJUの新境地とも言える楽曲が話題を集めている。6月からは全国アリーナツアー「JUJU ARENA TOUR 2015 -ジュジュ苑 10th Anniversary Special-」も決定している。

## ストーリーテラー:大沢たかお



大学在学中の1987年よりモデルとして活動し、パリコレでも活躍。俳優に転向してからはドラマ『君といた夏』で注目を集め、ドラマ『星の金貨』でブレイクする。その後、ドキュメンタリーとドラマとの複合を実験的に行った番組『劇的紀行 深夜特急』での経験が評価され、活躍の場を日本だけでなく世界にも広げた。映画での演技も高く評価され、『解夏』で第28回日本アカデミー賞優秀主演男優賞、『地下鉄(メトロ)に乗って』で第30回日本アカデミー賞優秀助演男優賞を受賞。2009年には『JIN-仁-』で8年ぶりに連続ドラマに出演、翌年2010年に第18回橋田賞を受賞。自身と作品とのダブル受賞となった。現在、NHK大河ドラマ「花燃ゆ」に出演中。さらに主演映画「風に立つライオン」が3月14日より公開中である。また、2009年4月より、TOKYO FM/JFNの長寿番組『JET STREAM』の5代目機長に就任。情感あふれるナレーションを披露している

## 演出:松任谷正隆

音楽プロデューサー。1951年(昭和26年)11月19日東京生まれ。1974年慶應義塾大学・文学部卒。4歳からクラシックピアノを習い始め、14歳の頃にバンド活動を始める。20歳頃からプロのスタジオプレイヤー活動を開始し、バンド“キャラメル・ママ”“ティン・パン・アレイ”に参加。その後アレンジャー、プロデューサーとして松任谷由実をはじめ、吉田拓郎、松田聖子、ゆず、いきものがかり、など多くのアーティストの作品に携わる。また、音楽学校「MICA MUSIC LABORATORY」を1986年に開校、2001年4月からはジュニアクラスもあらたに開校し子供の育成にも力を入れている。1985年から長年にわたり「CAR GRAPHIC TV」のキャスターを務めるなど、自他共に認める車好き。今ではモータージャーナリストとしての顔も持ち、「AJAJ」の会員、及び「日本カー・オブ・ザ・イヤー」の選考委員でもある。「CAR GRAPHIC」誌の『CG-TV』、『EDGE』誌での「我が人生にクルマあり」等々、エッセイ連載中。

## テクニカルディレクション:Rhizomatiks

2006年に設立。Webから空間におけるインタラクティブ・デザインまで、幅広いメディアをカバーする高い技術力と表現力を併せ持った少数精鋭のクリエイター集団。メディアアート、エンジニアリング、建築、音楽など、様々なバックグラウンドを持つ個性豊かなクリエイター達が、デザイン/アート/エンターテインメントの枠組みを行き来しながら行う実験には、既存メディアとは異なる新たなフォーマットが生み出される可能性に溢れている。アルスエレクトロニカ、文化庁メディア芸術祭、カンヌライオンズ 国際クリエイティブティ・フェスティバルなど受賞歴多数。



## ◆EARTH × HEART LIVEとは

TOKYO FMとJFNが取り組む「アースコンシャス(地球を愛し、感じる心)、ヒューマンコンシャス(生命を愛し、つながる心)」の理念に基づき、1990年より毎年、国内外のアーティストが地球への愛を歌い上げる一夜限りのライブを開催してきました。地球環境保全のメッセージを、国境を越える音楽にのせて、世界の国々に発信しています。



EARTH CONSCIOUS

地球を愛し、感じる心



HUMAN CONSCIOUS

生命を愛し、つながる心

この理念を形に



TOKYO FM & JFN present  
EARTH × HEART  
LIVE 2015  
アース・バイ・ハート

## 【EARTH × HEART LIVE の歴史】

TOKYO FM が開局 20 周年を迎えた 1990 年。社の理念を「世界の若者との感動と共感のネットワーク」を創ることと定め、その具体的なステーション・メッセージとしてスタートさせたキャンペーンが「アースコンシャス～地球を愛し、感じる心」です。その象徴イベントとして毎年、4月22日<アースデー>に、地球環境の保護と保全を呼びかける世界中継コンサートを開催してまいりました。

1990年の第1回は「We Love music, We Love the Earth」というコンサートタイトルで、渡辺貞夫とブラジル・プロジェクトによるライブの模様を、世界のラジオ局に生中継で放送しました。当時、「エコノミックアニマル」と揶揄されていた日本から、初めて環境保全メッセージが発信され、世界各地から5000通もの共感のFAXが届きました。

○イギリス/S. A. ウィットビーさん。

「平和で調和に満ちた地球環境を実現しようとする日本の努力は素晴らしい。欧米では、日本人は飽くなき経済活動だけで、世界の問題に真剣に取り組もうという姿勢は殆ど知られていません。」

○モスクワ/イーラ・ジトコフスカヤさん

「人間が自然に対して、地球に対して、また命に対して罪を犯すことを許してはなりません。

ともに歌うこと、それは、魂を目覚めさせる、まず第一歩だと感じました。」

2011年3月11日、未曾有の被害をもたらした東日本大震災が発生しました。

これを受けて、「アースコンシャス」とともに、もうひとつの企業理念である“ヒューマンコンシャス～生命(いのち)を愛し、つながる心”を加えて、コンサートタイトルを「EARTH × HEART (アース・バイ・ハート) LIVE」と改称しました。かけがえのない地球と、地球に生きるあらゆる生命を慈しむ心を持ち、潤いのある社会を目指そうというメッセージを発信していきます。

2013年、「EARTH × HEART LIVE」は、急速な経済発展によって厳しい環境問題に直面しているアジア全体で環境問題に取り組もうと「アジアプロジェクト」をスタート。その第一弾として、台湾のNo.1ステーションUFO FMと連携し、台湾の人気バンド「Mayday」を招聘しました。さらに同年12月には「アジアプロジェクト」を拡大し、「EARTH × HEART Project」と題して、韓国、シンガポール、台湾を巡るライブサーキットを実施しました。

そして2014年4月21日、このアジアプロジェクトの集大成として「EARTH × HEART LIVE 2014」を開催。

日本のASIAN KUNG-FU GENERATIONとSTRAIGHTENER、韓国のNell、台湾のTIZZY BACが、東京国際フォーラムのステージで共演を果たしました。

## 【過去の出演アーティスト】

渡辺貞夫、ジェイムス・テイラー、リー・リトナーらブラジル・プロジェクト(1990)、坂本龍一とユッサー・ン・ドゥール(1991)、久保田利伸とキャロン・ウィーラー(1992)、TOSHIとジャニス・イアン(1993)、サンタナとオルケスタ・デ・ラ・ルス(1994)、ユーログループ、小室哲哉とアース・ウィンド&ファイアー(1995)、ドゥービー・ブラザーズと玉置浩二(1996)、エターナルとMAX(1997)、ダリル・ホール&ジョン・オーツとシング・ライク・トーキング(1998)、ドリームズ・カム・トゥルー(1999)、杏子、山崎まさよし、スガシカオ、COIL(2000)、19、hitomi、忌野清志郎(2001)、CHAGE & ASKA、BoA、倅田來未、INSPi、山崎まさよし(2002)、忌野清志郎、佐野元春、及川光博、夏川りみ(2003)、今井美樹、大貫妙子、小坂忠、佐野元春、高野寛、チェン・ミン、CHARA、bird、ハナレグミ、松任谷由実、森山良子、矢野顕子(2004)、宮沢和史 with Catia、Diana Arbenina、Tomek Makowiecki、東京スカパラダイスオーケストラ、一青窈(2005)、倉木麻衣(2006)、m-flo、RAG FAIR、加藤ミリヤ、mink、大塚 愛(2007)、絢香、BONNIE PINK、ダニエル・パウター(2008)、絢香(2009)、東京スカパラダイスオーケストラ、山崎まさよし、AKB48、amin(2010)、今井美樹、植村花菜、ゴスペラーズ、藤井フミヤ(2011)、フィッシュマンズ、サカナクション(2012)、Mayday、flumpool(2013)、ASIAN KUNG-FU GENERATION、STRAIGHTENER、Nell、Tizzy Bac(2014)